



## 子どもが喜ぶ手触り ブリをイメージした木のおもちゃを配布



4月16日、町保健福祉センターで開催した2カ月母子相談に訪れた親子に町から、特産であるブリをイメージした木製のガラガラおもちゃを手渡しました。

森林環境譲与税を活用した事業で、町産ヒノキ間伐材を使用し、90個製作しました。小さい頃から、木にふれあうことで豊かな感性や木材、地域への愛着を育んでもらうことを目的として、今後も同相談時に配布します。上文香さん（蔵之元）は「子どもも喜びそうな手触り。あやす時に使ってみたい」と話しました。



## 皆さんのおかげで 下平さん行政相談員退任



4月18日、行政相談員を3月で退任された下平隆康さん（矢堂・写真右）に総務大臣から感謝状が贈られ、鹿児島県行政監視行政相談センター高橋寧所長から伝達されました。下平さんは、平成23年から令和6年までの14年間行政サービスに対する住民の相談を受け、その解決に向けた業務にボランティアとして尽力し「皆さんの指導と協力のおかげで続けることができた」と話しました。

後任の相談員には、立山茂盛さん（浦底・同左）が着任しました。

## 水産振興のための連携強化 鹿児島大学水産学部と包括連携協定



4月23日、役場で、「長島町、東町漁業協同組合、鹿児島大学水産学部との包括連携に関する協定書」の調印式が行われました。

協定では、それぞれが備える知識や機能と環境、資源の活用を図り、相互に協力を求める際の必要な基本的事項を締結。赤潮発生時の対応策研究などが進められます。

山下伸吾組合長（写真左端）は「県は、全国初のデジタル水産業戦略拠点に選ばれ、大学と包括連携協定を結んだのは良いタイミング」とあいさつ。小谷知也副学部長（同右端）は「新たなスタートとなり、町と同組合のために尽力したい」と抱負を語りました。